

目 次

第1部	都立図書館改革の基本的考え方	1
1	都立図書館改革の必要性	1
2	都立図書館改革の経緯	5
3	都立図書館改革の取組方針	6
第2部	都立図書館改革の具体的な取組み	8
第1章	都立図書館サービスの新たな展開	8
1	重点的情報サービスの推進	8
2	東京マガジンバンクの創設	10
3	タイムリーな企画展等の実施	11
第2章	利便性の高いサービスの実施	14
1	ワンストップサービスの導入と利用しやすい蔵書配置	14
2	蔵書の充実	16
第3章	インターネットを活用した情報サービスの推進	19
1	オンラインデータベースの活用	19
2	インターネット利用環境の改善	21
3	メールを活用した情報発信	22
4	遠隔サービスの充実	23
5	貴重資料の電子化の拡大と公開	25
6	都庁Web情報の蓄積・公開	27
第4章	都の行政施策との連携	28
1	都が設置する他の図書館等との情報の共有化	28
2	子どもの読書活動の推進	30

3	学校に対する教育活動支援	32
4	政策立案支援サービスの充実	34
第5章	区市町村立図書館との連携・協力	36
1	区市町村立図書館への新しい支援と連携・協力	36
2	相互貸借の促進と協力貸出の見直し	40
第3部	都立図書館改革の基盤づくり	42
第1章	組織と業務運営の見直し	42
1	中央図書館と多摩図書館との機能分担の推進	42
2	中央図書館における情報サービス体制の効率化	44
3	業務委託の推進	47
4	収蔵対策	49
5	利用者による費用負担	51
6	I C タグの導入の検討	52
7	図書館サービスの評価	53
第2章	図書館を支える人材の育成と確保	55
1	職員が習得すべき能力・知識の明確化	55
2	職務経験に応じた能力開発計画の策定	55
3	専門職員の確保	56
第3章	国や他自治体との連携	57
1	国立国会図書館との連携	57
2	近隣の県立図書館等との連携	57
3	日比谷図書館の地元区への移管	57